

地域ファンづくりの場「ツクリテ」、世田谷区と協定を締結し本格始動

～地域の担い手不足を民間×行政が協働し解決する初の取り組み、
東急線沿線や当社とゆかりのある全国の自治体への展開を開始～

東急株式会社

当社は、地域ファンづくりのためのWebプラットフォーム「ツクリテ」(以下、本サービス)について、世田谷区(以下、同区)と協定を締結し、2026年4月1日(水)から同区において本格的な事業展開を開始します。

本サービスは、地域における“楽しみごと”の創出や“困りごと”の解決を企画する主催者と、自身の興味関心に応じて活動を知り、参加し、仲間として関わる参加者をつなぐWebプラットフォームです。今般、2025年5月から同区内で実施してきた実証実験の成果が評価され、地域の持続的な魅力づくりを支える仕組みとして同区で正式に導入され、継続的に運用を行っていくこととなりました。

今後は、民間と行政が互いの強みを活かして協働することで、地域活動への参加機会の見つけづらさや地域の担い手不足といった課題の解決を目指すとともに、同区が掲げる「参加と協働」のまちづくりを後押しし、誰もが自律的にまちづくりに関わることができる「生活者参加型の共助の仕組み」を推進していきます。

これまでの実証実験では、2026年2月末までに延べ約700名が地域活動に参加しました。2025年11月末に実施した会員向けアンケートでは、参加者の約4分の1がリピーターであったほか、区外からの参加者も3割弱を占め、区外、地域外も含めた参画の動きが見られました。参加者は若年層を含む幅広い年代・性別にわたり、主催者・参加者双方から高い満足度を得られたことから、地域の担い手を育むプラットフォームとしての本サービスの有効性が示されました。また、民間と行政が連携して取り組むことで、従来は地域活動に関心の低かった層の参加も見られ、地域の担い手となり得る人材の裾野を広げる、官民連携の新たな可能性を確認することができました。

今般の本格実施にあわせて、本サービスは4月以降、機能拡充と新たな取り組みを順次開始します。具体的には、UI/UXの刷新によって利便性を向上させるとともに、複数の自治体での利用にも対応可能な仕様へとアップデートします。また、地域活動を行う団体などの主催者の募集をWeb上で行えるようにするとともに、主催者紹介ページを新設し、活動内容を地域ファンへ届けます。さらに、現在運用しているInstagramに加え、新たに公式LINEを開始し、より広く地域活動の情報を発信し、参加を促していきます。

今後は、ボランティアなどの「人」のマッチングに留まらず、場所・モノ・資金といった地域活動に必要なあらゆる資源を包括的にマッチングできる機能へ拡充を目指します。これによって、単なる「人手不足」の解決を超え、地域活動の実行力を向上させる支援を行っていきます。また、東急線沿線や当社とゆかりのある全国の自治体への展開を加速させ、沿線居住者が地方の活動に参加するなど、都市部と地方部をつなぐ関係人口創出モデルの構築を目指します。本サービスが官民連携のロールモデルとなり、全国の持続的な地域の魅力づくりを支える基盤となるよう、取り組んでいきます。

以上



自治体トップ



主催者紹介



活動詳細

公式HP:[ツクリテHP](#)

【別紙】

■地域ファンづくりの場「ツクリテ」について

1. 概要:

「ツクリテ」は、地域ファンづくりのためのWebプラットフォームです。まちで企画を立ち上げる主催者と、興味関心に応じて体験に参加する参加者をシームレスにつなぎ、“楽しみごと”を共に創り、“困りごと”も共に解決する、オンラインの共創の場です。主催者が、ちょっとしたお手伝いや楽しみながら参加できるイベントをWebサイト上に登録し、参加者が気軽に見つけて応募できます。参加者は自身の興味やライフスタイルに合った活動を簡単に探し、ワンクリックで申し込みが可能です。また、主催者は地域内外から活動を支援してくれるメンバーを集めることができます。

本格導入開始地域 : 東京都世田谷区

今後の展開予定地域 : 当社とゆかりのある全国の自治体に順次展開予定

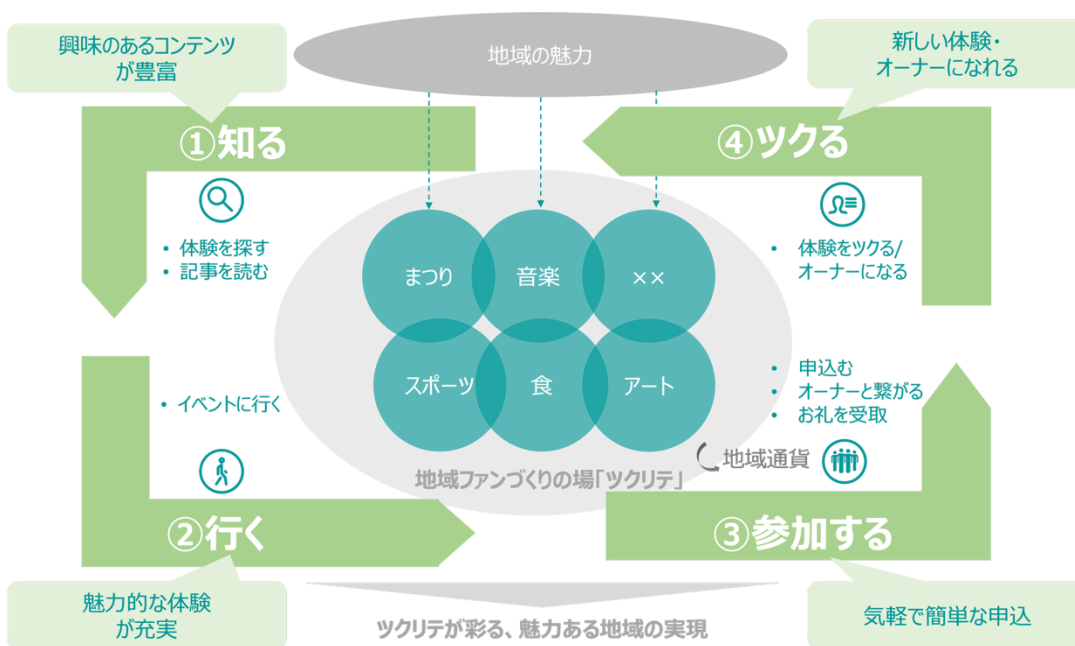
※公式HPは5月にリニューアル版を公開予定です。

2. 目指す姿:

「ツクリテ」が目指すのは、生活者自身が望む地域の未来を、自律的に実現できる社会のかたちです。人々が多層的に地域と関わり、楽しみごとを自ら創り出し、地域課題を仲間とともに解決していく。

本サービスは、その実現に向けた第一歩として提供します。

3. コンセプト:



■世田谷区における実証実験の結果について

期間: 2025年5月26日～2026年3月31日

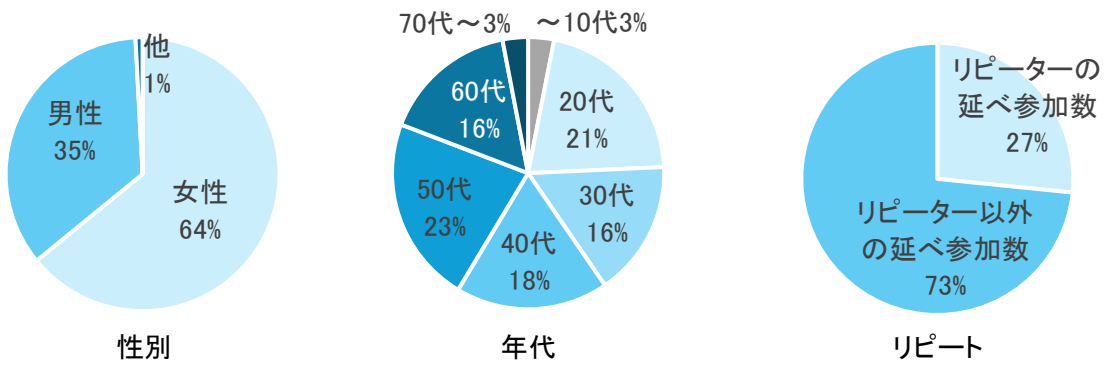
主な結果:

- 地域活動延べ参加者数: 716人
- 区外からの参加(関係人口): 約24%
- リピーター比率: 約27%
- 年齢・性別ともに幅広い層が参加
- NPS(推奨度): +29

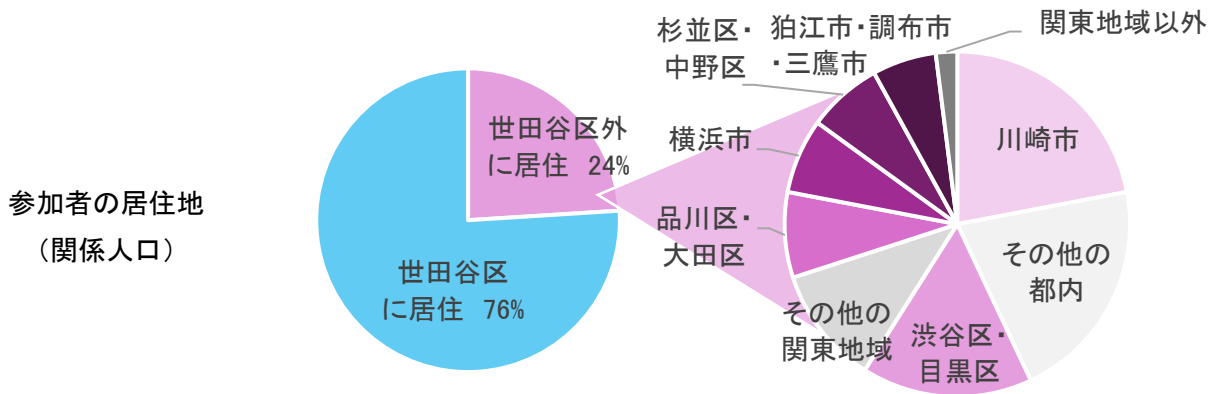
※2025年5月26日～2026年3月10日までのデータ

【アンケート結果(2025年11月実施)】

・地域活動参加者の属性(n=530)



※会員登録者数では女性56%、男性44%



・参加者の声

「大学で4年間通い続けた世田谷に愛着があり参加」(神奈川県在住・20代女性)
 「地域と繋がる機会が少なく、こうした取り組みはありがたい」(世田谷区在住・30代)

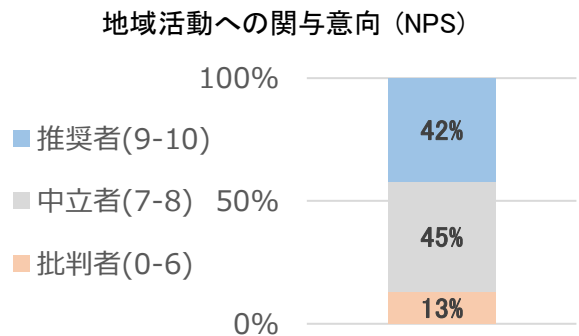
・主催者の声

「参加者の熱量が高く、継続参加して頂けて有難い」
 「遠方からも定期的に参加して下さる方もいた」

・NPS(推奨度)=+29 (n=112)

(計算式)
 42%(推奨者割合) - 13%(批判者割合)

世田谷区をより良くするための活動に、
 どの程度関わりたいと思いますか?
 0~10までの10段階で回答



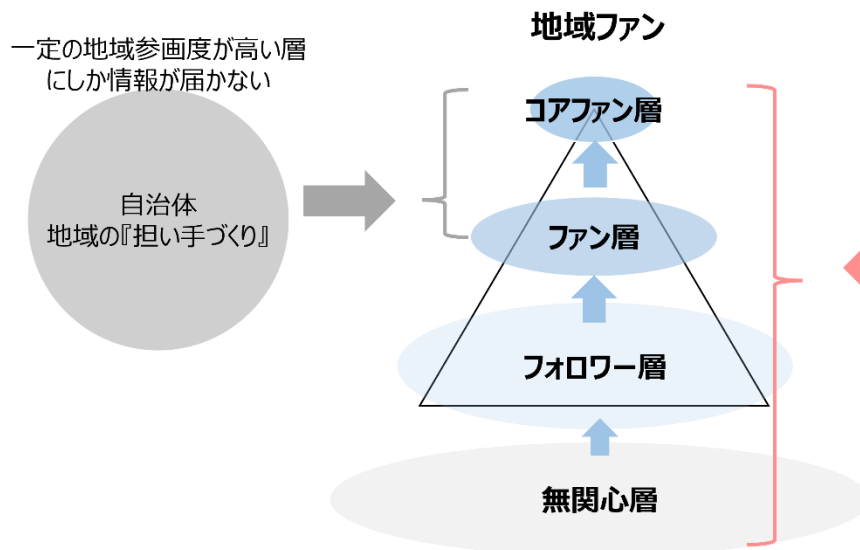
※NPS(Net Promoter Score)について

顧客が企業、ブランド、商品、またはサービスに対して抱く信頼や愛着といった「顧客ロイヤリティ」を数値化する指標。顧客に0から10の11段階で評価してもらい、スコアを次のように分類します。推奨者(9~10)、中立者(7~8)、批判者(0~6)。NPS(推奨度)は、推奨者の割合から批判者の割合を差し引いて算出され、値が高いほど口コミやリピートにつながる可能性が高いことを示します。

・官民連携による成果

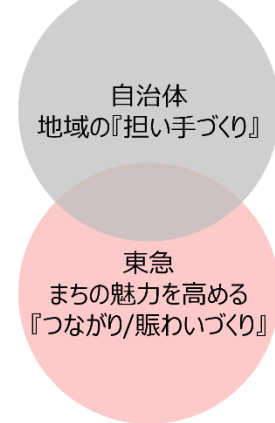
民間と行政が連携して取り組むことで、これまで地域活動に関わりのなかった層の参加も見られ、地域の担い手となり得る人材の裾野を広げる可能性が示されました。

従来：行政単体



『ツクリテ』：官民連携

無関心層・フォロワー層にもアプローチし、幅広く地域の担い手になりうる人の発掘が可能



■機能拡充の実施予定について

1. UI/UXの刷新および複数自治体向け対応の開始

実証実験でのフィードバックを受け、WebプラットフォームのUI/UXを刷新し、より使いやすい仕組みにします。また、複数の自治体での利用にも対応可能な仕様へとアップデートします。(5月実施予定)

2. 主催者向け機能の拡充（主催者申請の受付開始、主催者紹介ページの新設）

地域活動を行う団体・個人などの主催者の申請を広く受け付けます。ガイドラインに沿っていることを前提に、主催者はWeb上で申込を行うことができます。ツクリテ事務局が内容を確認の上で掲載可否を判断することで、参加者が安心して活動に応募できる環境を整えます。また、主催者を紹介するページを新設します。主催者が目指すことや、活動内容、活動者などの情報を、地域ファンの方へお届けする機会を提供します。(5月実施予定)

3. 公式LINEの開始

現在運用しているInstagramによる情報発信に加え、新たにツクリテ公式LINEの運用を開始します。より幅広く地域活動の情報を発信し、地域活動への参加を促していきます。(4月1日開始予定)

■新たな取組みの実施予定について

ボランティアなどの「人」のマッチングに留まらず、場所・モノ・資金といった地域活動に必要なあらゆる資源を包括的にマッチングできる機能へ拡充を目指します。

例えば、地域活動で使える場所の供出や、活動に必要な物品集めに関する情報、地域活動資金の募集情報や助成情報の掲載など、さまざまな取組みのトライアルを通じて、単なる「人手不足」の解決を超え、地域活動の実行力を向上させる支援を行っていきます。

■今後の自治体展開について

東急線沿線や当社とゆかりのある全国の自治体への展開を加速させ、沿線居住者が地方の活動に参加する仕組みを構築することで、都市部と地方部をつなぐ「関係人口」の創出を目指します。総務省が「ふるさと住民登録制度」の推進を図る中、当社は「ツクリテ」を通じて、「都市の強み」で「地方の課題」を解決し、「地方の強み」で「都市の課題」を補完する、双方向の送客や機能補完を実現します。都市・地方双方が「お互いさま」の関係で支え合える社会の構築に寄与していきます。



■地域ファンづくりの場「ツクリテ」開発の背景について

本サービスは、当社の新規事業創造組織「フューチャー・デザイン・ラボ」が開発・運営を行っています。

1. フューチャー・デザイン・ラボとは

フューチャー・デザイン・ラボは、東急株式会社の新規事業創造組織です。「従業員起点による新規事業の創出」、「オープンイノベーション」、「新領域探索」の3つの柱を軸に活動を行っており、「ツクリテ」はそのうち「新領域探索」の取り組みの中から企画されたものです。未来の社会課題を想定し、バックキャスト思考で「未来のライフスタイルの構築」につながる新規事業の創出を目指しています。

2. 開発の背景

右肩上がりに増加してきた東急線沿線の人口は、東急総研の推計によると、2025年頃から2035年頃の間ピークを迎え、その後減少に転じると予測されています。また、この人口減少に伴い、生産年齢人口も減少していく見込みです。

こうした人口減少局面においては、人口増加や右肩上がりの経済成長のみに依拠しない、新たな豊かさや新しい事業モデルが求められています。

人口減少時代においては、税収減に伴う行政領域の縮小や、民間企業の地域からの撤退などにより、地域サービスの余白が拡大する可能性があります。当社はこうした社会課題を、新たな事業モデルの機会と捉えています。当社は、民間企業、行政、生活者と連携し、地域活動を支える共助型の仕組みを構築するとともに、その仕組みを支える基盤を担うことが重要と考え、地域活動への参加を通じて地域との関わりを生み出すサービス「ツクリテ」を開発しました。

3. 開発チーム

東急株式会社

フューチャー・デザイン・ラボ

DAO型まちづくりプロジェクトチーム

清水 健太郎:事業構想・企画・開発、プロジェクト統括

坂井 裕哉:事業開発、マーケティング・営業、コンテンツ企画などサービス成長戦略の推進

奈良 太一:地域活動の発掘・造成およびコミュニティ形成支援など地域価値創造の推進

プロジェクト・パートナー

株式会社Little Park(代表取締役:古里 圭史):事業企画・運営に関する伴走支援、自治体展開支援

株式会社CUUSOO SYSTEM(代表取締役:山本 慧吾):会員サイト作成ツールの提供およびシステム開発

セッテンラボ株式会社(代表取締役:平田 啓介):UI/UX設計

照屋 野枝(個人事業主):Webサイト、ロゴ、ポスター等のデザイン